

経産局で働くと何ができる？ 私たちの提供価値

先輩職員インタビュー 係員（2020年度入局）

所属：総務企画部 国際課

氏名：坂本 陸

入局：2020年度（令和2年度）

事務官／技官：事務官

略歴：

2020年4月～ 産業部 中小企業課

2022年4月～ 総務企画部 国際課

2023年1月～ 本省資源エネルギー庁 国際課

2023年5月～ 総務企画部 国際課



Q：入局年度を教えてください。

2020年度の入局です。現在、入局4年目で、総務企画部国際課に所属しています。

Q：入局してから現在までのポストと業務について教えてください。

まだ入局して4年目の職員でまだまだ未熟ではありますが、1年ずつ振り返らせていただきます。**1年目は中小企業課総括係に配属され、課内の情報の結節点役となって問い合わせ対応や庶務業務をしていました。**また、「事業継続力強化計画」という道内中小企業の防災計画に関して携わっており、計画策定の支援なども担当していました。頻発する地震等の災害に対する備えを道内中小企業にも普及させていくという立場で、中小企業庁とも連携して普及加速化に努めていました。

2年目に入り、これらの業務に加えて、中小企業金融と事業承継も担当しました。この業務では、企業の方よりも、支援機関や金融機関の方と密に連携させていただくことが多かったです。中でも印象的なのは、「北海道事業承継シンポジウム」というイベントです。私は北海道経産局の制度担当者として登壇をしました。2年目の職員である自分に人前に立って説明できるのか、不

安な気持ちもありましたが、上司にも相談しアドバイスを受けて登壇させていただき、無事にシンポジウムを終えることができました。

3年目は現在所属する国際課に異動しました。関係機関と連携しながら、中小企業の海外展開支援やそれに伴う道内出張、札幌に拠点のある領事館との連携や当局職員が海外出張する際のサポートなどを行っています。昨年度は、日本とモンゴルの外交樹立50周年記念ということもあり、**モンゴル国内での北海道のプレゼンス向上や新たな経済交流を目的に、モンゴル出張をしました。**モンゴルでは観光誘致に力を入れ始めているものの、人員や能力が不足しており、課題が山積みのところ、帰国後は、日本の旅行代理店の方などをモンゴル側に紹介し、新たな経済交流の創出を図っています。

また、**2023年1月から4月末まで、「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」の開催に向けて、資源エネルギー庁長官官房国際課に出向して参りました。**私は、環境省や委託事業者、地元自治体やメディアの方などとの連絡・調整業務を主に担当していました。政府をあげた国際会議のプレッシャーがかかる中、あらゆることに気を配る必要がありましたが、なんとか無事に乗り切ることができました。

Q：改めて3年間を振り返ってみてどう感じましたか？

とても密度の濃い3年間でした（笑）。なかなかできない経験を一気にさせていただいたと思います。特に、私が入局した年は新型コロナ対応が始まった年だったので、給付金対応で様々な事情を抱えた事業者の方からのご相談を受けて対応させていただいたのは、私自身の勉強になりましたし、人生の糧になりました。

Q：3年間で多くの経験を積んでこられたんですね。

様々なチャンスを若手にも振ってもらえるのが当局の良いところだと思います。入局するまでは、役職の高い方だけにそのようなチャンスが回ってくるのだと思っていましたが、**実際には、若手も挑戦できる職場だと思います。**

Q：そもそも北海道経産局を志望した理由は何でしょうか？

自分の父親が警察官だったこともあり、漠然と公務員が良いと思っていました。その中で父親とは違う道を選びたいと思っていて国家一般職という選択肢が見えてきた、というところでした。国家一般職は、一般的にはスペシャリストになるような職業ですが、**経産局はゼネラリストのような一面もあり、なかなか他の国家一般職ではできない経験をできるのではないかと思います。**

Q : 経産局の仕事のどんなところに魅力を感じていますか？

色々な経験をさせていただけるということや、業務としてやりがいを感じる部分もかなり多いと思います。若手のやる気次第でチャンスを与えてくれる。先程申し上げたシンポジウムでの説明者やモンゴル出張など、業務によっては難易度が高いものもありますが、**若者のやる気をうまくキャッチして、フォローしていただける魅力的な職場**かと思います。

Q : 今後入ってこられる方には坂本さんがフォローしてあげる立場になりますね。

そうですね（笑）

Q : 若手に任せるとするのは社風でしょうか、雰囲気なんでしょうか？

経産省の社風だと思っています。経産省に限らずどこの省庁でもあるかもしれませんが、経産局は特に、「**やってみたいならやってみよう。フォローするよ。**」という**温かい職場**だと思います。

Q : 普段仕事をする上で大事にしていることは？

情報共有です。**相手が何をしているのか、自分の仕事が上司に伝わっているのか、は重要視しています。**自分がやっている仕事について、「ここまではできていて、ここは出来ていないです。」という相談を比較的しやすい職場だと思います。

Q : 北海道の成長に経産局が果たす役割は何でしょうか？

私自身模索中のところではありますが、**（経産局の役割は）国の出先機関として、国と地方をつなぐ結節点であることだと思っています。**国の施策に対する認識の乖離をいかに少なくするかが私たちの使命であり命題だと思います。我々の武器は経産省が持っている施策なので、これをどのように伝えていくかが重要です。当省の作るパンフレットやHPなどは、パッと見た時の印象や記載ぶりは以前より分かりやすくなってきたと思いますが、まだまだ一般の国民の方には難解なものも多いと思います。齟齬がない範囲で内容をわかりやすく自分でかみ砕いて自治体の方に制度変更を伝えることだったり、各地を回って地元の方の声を直接聞くことだったり、工夫次第で効果が何倍にも変わっていくと思っており、それが自分がこの組織に入った役割なのかなと思っています。

Q：企業の方と接する機会の中で、どのような時に「必要とされている」と感じますか？

今は国際課という課にいますので、「海外展開を何から始めれば良いのか分からない」、という事業者の方が多いです。ネット検索で国際課を見つけた方から、「今度、話を聞きに行ってもいいですか？」と相談を受けることもあります。

その際に、例えば無料で専門家に相談できる施策を紹介したり、**適切な支援につなげていった結果、実際にうまくいったり等、なかなか難しかったが一步前進した、といった話を聞くと良かったと感じます。**

Q：異動の度に業務内容が大きく変わることについてはどう感じていますか？

自分が新しい経験、新しい分野に触れる際には、必ず本を読んで、何から吸収していけば核となる部分に近づけるか、それをゲーム感覚で勉強するようにしています。多種多様な仕事ができるのは自分には合っていると感じます。

好奇心旺盛な方だったり、やる気のある方、とにかく何でもいいからやってみたい、熱意のある方にとっては、入局されると面白い職場だと思います。

Q：仕事をしていて壁に当たったことはありますか？

新型コロナの真っ只中で中小企業課に配属されたので、右も左も分からない中でテレワークが始まったのは、職場環境の変化というところでは大きくギャップを受けたところでした。

また、（新型コロナの関係では）事業者の方からの問い合わせで厳しい対応を求められることもあり、**私の言葉ひとつで経産省の意見として受け止められてしまうので、言葉を慎重に選ぶ必要があったのは、入局1年目の職員としては重責を感じることもありました。ただ、同時に成長も出来たと思います。**

Q：その時に支えになったのは何でしょうか？

一番シンプルですが、上司が近くにいてくれたことかと思います。（チャットなど）気軽に相談できるようなツールもあるので、「この場合どうすればいいですか」といった相談を密にできるのはありがたかったです。

Q：今、チャレンジしていることは何かありますか？

中小企業は経済産業省の中でも核となる部分ですし、（経産省職員にとって）切っても切り離せない存在なので、**今、「中小企業診断士」という資格の勉強をしようかと考えています。**企業さん

のことを分かっていないと、これから相談を受ける上でなかなか深い話も出来ないですし、新しい相談を受けたときに「こういうこと（こういう例）がありますよ」と、アイデアを出す糧にもなると思うので、今、勉強をしています。

Q：経産局の職員として働く上で、どのような想いが必要だと思いますか？

相手の立場に立てる職員になっていただければ、どの職場でも生きていけるとは思いますが、特に経済産業局の職員であればそれが一番大切かなと思います。先ほど申し上げたように、厳しいご意見や厳しい環境にある方からのお問い合わせもありますし、新しく何かをやりたいという前向きな企業の方もいますので、あらゆる立場・環境の方に沿った意見を出さなければならぬ。ただ、経産省の職員としてブレてはいけないところもあるので、その中で、どうしたら現状を改善できるか、どのような提案を出せるのかが大事だと思います。

Q：最後に、これから入局を志望される方にメッセージをお願いします。

経済産業省では、コミュニケーション等の能力に関係なく熱意のある職員を募集しています。**我々自身が地域のキーパーソンとなれるような職員になればと思っています。**皆さんの入局を是非、お待ちしております！

以上